

2026年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
23205	公衆栄養 The Public Nutrition	服部 哲也			2	必修	2後期

科目の概要

「公衆栄養」では、地域社会における個人や集団に対し人間栄養学の実践に必要な理論と展開方法を習得する (DP. ②)。また、国民健康・栄養調査を始め各種統計データから健康や栄養の現状を把握し、健康課題や栄養課題を発見し、改善に向けた実践技術を理解する (DP. ④)。この授業では、情報の収集、分析、評価等をおして適切な栄養関連サービスを行政の立場から提供するマネジメント能力を学修し、課題を解決するための知識の獲得、獲得した知識の活用を進め課題を解決する力であるpisa型学力の向上を図るとともに栄養士に必要な客観的な証拠に基づいて科学的に判断する能力を付け社会的に自立して生きていく上で必要な食と健康に関する専門職に必要な専門的知識・技能を身に付ける (DP. ③)。

学修内容	到達目標
① 国民の健康や栄養課題を的確に把握し、公衆栄養プログラムの展開方法と課題解決に向けた公衆栄養施策の立案について知り、説明できるようになることを目的とする。 ② 健康増進法及び健康日本21や食生活指針等の根拠と施策について知り、説明できるようになることを目的とする。 ③ 各種栄養統計データの活用方法を知り、説明できるようになることを目的とする。	① 国民の健康や栄養課題を的確に把握し、公衆栄養プログラムの展開方法が理解できるための知識の獲得と活用による課題解決に向けた公衆栄養施策の概要が説明・適用することができる。(DP. ④) ② 健康増進法及び健康日本21や食生活指針等の根拠と施策の概要に関する知識の獲得と活用による課題解決に向けた説明ができる。(DP. ③) ③ 各種栄養統計データに関する知識の獲得と知識の活用による課題解決に向けた技法ができるようになる。(DP. ②)

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
---------------------	---------------------------

前に踏み出す力	主体性	地域社会の健康増進や疾病予防を達成するという目標に向かって、指示が無くとも、課題解決に必要な知識について、教科書・文献を使用して自己学修をすることができる。
	働きかけ力	
	実行力	到達目標等を確認し、困難があっても目標を変更せず到達することができる。
考え抜く力	課題発見力	公衆栄養の課題検討等については、思い込みや憶測ではなく、事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。
	計画力	
	創造力	地域の健康や栄養課題等の検討を始め、物事を考える時には固定概念に捉われず、いろいろな方向から考えることができる。
チームで働く力	発信力	公衆栄養活動のあり方等、整理した内容を的確な文章で表現できる。さらに、発表の仕方を工夫して説明できる。
	傾聴力	人の意見を確認し、その意見から新たなことに気づき、さらに自分の意見を述べるができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	遅刻、無断欠席をせず、学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に授業が進行するようにルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：公衆栄養学2026年版 酒井徹、由田克士編集（医歯薬出版） 価格3,300円＋税

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：栄養学、食品学、栄養教育論、公衆衛生学
資格と野関連：栄養士免許

学修上の助言	受講生とのルール
--------	----------

覚えることが多いので、教科書や資料等を活用し、次回講義までに公衆栄養の活動状況や評価を理解して備えることと講義後は積極的に復習を図ってください。	授業中は、講義内容について積極的に質問してください。授業で配布する資料の予備は保管しません。出席者からコピーさせてもらってください。 不明な点は文献やインターネット等で調べ、習得の向上に努めてください。
--	--

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	60	①	✓	到達目標の①②③に対応して、国民の健康や栄養課題、公衆栄養プログラムの展開方法、公衆栄養施策の立案の概要、健康増進法及び健康日本21、食生活指針等の根拠と施策の理解を試す問題及びpisa型学力が把握できる問題を出題し、評価する。五択問題、穴埋め問題、記述問題等で出題するが、授業内容を理解できているか、課題解決力の度合いを確認する。	
			②	✓		
			③	✓		
	平常評価	小テスト	20	①	✓	① 小テストは後半期に2回行う。(10点×2回) ② 国民の健康や栄養課題を的確に把握し、公衆栄養プログラムの展開方法を理解でき、さらに課題解決に向けた公衆栄養施策の立案、健康増進法及び健康日本21や食生活指針等の根拠と施策が理解できているか、さらにpisa型学力のレベルについても確認する。 ③ 穴埋め式、五択方式等で出題するが、出題範囲は各時点までの授業で学修した内容とする。
				②	✓	
				③	✓	
		レポート	10	①	✓	① レポートは後半期で1回実施する。 ② 課題については「我が国の健康課題と栄養課題について」(5点)「地域公衆栄養活動の展開について」(5点)で、授業で学修した内容2題をそれぞれ800字程度で問題を適切に捉えて、獲得した知識の活用による課題解決力の度合いやそれに対し自分の意見が主張できているか、さらに、表現の仕方、説明の明確度で評価する。
				②	✓	
	成果発表(プレゼンテーション・作品制作等)	0	①			
②						
学修行動	社会人基礎力(学修態度)	10	①	✓	(主体性) 地域社会の個人や集団の健康増進等の達成に向け、指示が無くとも、自己学修をしていたかで評価する。 (実行力) 困難があっても目標を変更せずに到達できたかで評価する。 (課題発見力) 公衆栄養の課題検討等について思い込みや臆測ではなく、事実に基づき情報を整理し、課題を見極めたかどうかで評価する。 (創造力) 物事を考える時に固定観念に捉われず、いろいろな方向から考えられたかどうかで評価する。 (発信力) 整理した内容を的確な文章で表現し、さらに発表の仕方に工夫があったかどうかで評価する。 (傾聴力) 人の意見を確認し、さらに自分の意見を述べたかどうかで評価する。 (規則性) 遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。	
			②	✓		
			③	✓		
総合評価割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>国民の健康や栄養課題を的確に把握し、公衆栄養プログラムの展開方法、課題解決に向けた公衆栄養施策の立案ができること、また、健康増進法及び健康日本21や食生活指針等の根拠と施策が習得でき、論理的かつ的確に説明することができること。(1)</p> <p>地域公衆栄養計画書が非常に的確に作成でき、公衆栄養プログラムがPDCAに基づき確実に展開できる手法が説明でき、さらに栄養士認定試験ガイドラインで示す本領域での知識を詳細かつ的確に説明ができること。(2)</p> <p>S(秀) = ①+② A(優) = ①又は②</p>	<p>国民の健康や栄養課題を的確に把握し、公衆栄養プログラムの展開方法、課題解決に向けた公衆栄養施策の立案が概ねできること。(1)</p> <p>健康増進法及び健康日本21や食生活指針等の根拠と施策が習得でき、論理的に説明することができること。(2)</p> <p>B(良) = ①+② C(可) = ①又は②</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション 公衆栄養の概念 ヘルスプロモーションについて理解する。	講義(教科書・資料・パワーポイント) グループディスカッション (PC利用: NotebookLM)	公衆栄養やヘルスプロモーションの概要について説明できる。	(復習) 公衆栄養活動についてまとめておくこと。 (予習) ヘルスプロモーションについて教科書を読み、ポイントを3つに整理しておくこと。	180	主体性 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
2	公衆栄養活動 ヘルスプロモーションのための公衆栄養活動について理解する。	講義(教科書・資料・パワーポイント) グループディスカッション まとめ発表 先週の学習内容を質疑応答形式で実施し、フィードバックする。 (PC利用: NotebookLM)	どのような方法で公衆栄養活動を展開するかについて説明ができる。	(復習) ヘルスプロモーションの概念図についてまとめておくこと。 (予習) わが国の健康・栄養課題について教科書を読み、ポイントを3つに整理しておくこと。	180	主体性 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
3	健康・栄養問題の現状と課題 社会環境と健康・栄養問題について理解する。	講義(教科書・資料・パワーポイント) グループディスカッション まとめ発表 質疑応答 先週の学習内容を質疑応答形式で実施し、フィードバックする。 (PC利用: NotebookLM)	わが国の健康、栄養問題の現状と課題について説明ができる。	(復習) 日本における健康問題、栄養問題と対策をまとめておくこと。 (予習) わが国の死因状況、生活習慣病の罹患率について把握しておくこと。	180	主体性 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
4	健康状態の変化 死因、生活習慣病の保有率等の推移について理解する。	講義(教科書・資料・パワーポイント) グループディスカッション まとめ発表 質疑応答(PC利用) 先週の学習内容を質疑応答形式で実施し、フィードバックする。 (PC利用: NotebookLM)	わが国の死因状況、生活習慣病の罹患率について説明ができる。	(復習) 日本における肥満割合と生活習慣病有病率から対策をまとめておくこと。 (予習) 我が国の食生活の推移について教科書を読み、ポイントを3つに整理しておくこと。	180	主体性 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
5	食生活・食環境の変化 栄養素の推移、食料自給率について理解する。 自給率向上という課題に対し、どう解決するかについても学修する。	講義(教科書・資料・パワーポイント) グループディスカッション まとめ発表 質疑応答 先週の学習内容を質疑応答形式で実施し、フィードバックする。 (PC利用: NotebookLM)	わが国の栄養素摂取量の推移や食料自給率の変化について説明ができる。	(復習) 日本における摂取栄養量の推移と生活習慣病の割合についてまとめておくこと。 (予習) 我が国の栄養政策について教科書を読み、ポイントを3つに整理しておくこと。	180	主体性 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
6	栄養政策 公衆栄養活動、関連法規、栄養士制度について理解する。公衆栄養活動の問題点や課題を把握し、解決策を学修する。	講義(教科書・資料・パワーポイント) グループディスカッション まとめ発表 質疑応答 先週の学習内容を質疑応答形式で実施し、フィードバックする。 (PC利用: NotebookLM)	健康増進法や栄養士法の内容について説明ができる。	(復習) 健康増進法の目的と指針についてまとめておくこと。 (予習) 国民健康栄養調査の概要についてポイントを3つに整理しておくこと。	180	主体性 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
7	国民健康・栄養調査 調査の意義や内容と国民の栄養状況について理解する。	講義(教科書・資料・パワーポイント) グループディスカッション まとめ発表 質疑応答 先週の学習内容を質疑応答形式で実施し、フィードバックする。 (PC利用: NotebookLM)	国民健康・栄養調査の調査内容、結果について説明ができる。	(復習) 国民健康・栄養調査の結果から我が国の健康状況と栄養状況をまとめておくこと。 (予習) 食事バランスガイドの概要についてポイントを3つに整理しておくこと。	180	主体性 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
8	食生活指針・食事バランスガイド わが国の栄養施策について理解する。	講義(教科書・資料・パワーポイント) グループディスカッション まとめ発表 質疑応答 先週の学習内容を質疑応答形式で実施し、フィードバックする。 (PC利用: NotebookLM)	食事バランスガイドの活用方法について説明ができる。	(復習) 食事バランスガイドの集計結果から栄養指導内容をまとめておくこと。 (予習) 健康日本21について教科書を読み、ポイントを整理しておくこと。	180	主体性 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	健康日本21と地方計画 健康増進の概念と健康づくり施策について理解する。	講義(教科書・資料・パワーポイント) グループディスカッション まとめ発表 質疑応答 先週の学習内容を質疑応答形式で実施し、フィードバックする。 (PC利用: NotebookLM)	健康日本21(第2次)の内容と基本方針について説明ができる。	(復習)健康日本21(第2次)の概要と基本方針をまとめておく。 (予習)各種栄養調査方法の概要を確認し、ポイントを3つに整理しておく。	180	主体性 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
10	食事摂取量の測定方法 各種の栄養調査法と地域住民の栄養問題について理解する。	講義(教科書・資料・パワーポイント) グループディスカッション まとめ発表 質疑応答、レポート作成 わが国の健康課題をレポート作成し、PPで模範解答例を提示し、内容を意見交換する形態でフィードバックする。 (PC利用: NotebookLM)	24時間思い出し法を始め、各種の調査の利点と欠点について説明ができる。	(復習)各種食事調査法の特徴(利点と欠点)から、望ましい調査法の選択についてまとめておく。 (復習)食事調査データの見方についてポイントを3つに整理しておくこと。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	食事摂取量の評価方法 調査から得られた栄養素等摂取量のデータ解析について理解する。	講義(教科書・資料・パワーポイント) 小テスト グループディスカッション 先週の学習内容を質疑応答形式で実施し、フィードバックする。 小テストを実施し、正答発表と解説を行いフィードバックする。 (PC利用: NotebookLM)	調査結果から食事比率、栄養比率等の状況について説明ができる。 小テストで評価する。	(復習)食事摂取量の調査後の内容評価をまとめること。 (予習)公衆栄養マネジメントの概要についてポイントを3つに整理しておくこと。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	公衆栄養マネジメント 地域集団の栄養課題解決の活動方法について理解する。	講義(教科書・資料・パワーポイント) グループディスカッション まとめ発表、質疑応答 先週の学習内容を質疑応答形式で実施し、フィードバックする。 (PC利用: NotebookLM)	公衆栄養活動の進め方や行政栄養士の役割について説明ができる	(復習)保健所栄養士と市町村保健センター栄養士の業務をまとめておくこと。 (予習)栄養アセスメントのポイントを3つに整理しておくこと。	180	主体性 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
13	公衆栄養アセスメント アセスメントの目的と方法及び手順について理解する。	講義(教科書・資料・パワーポイント) グループディスカッション まとめ発表 質疑応答 先週の学習内容を質疑応答形式で実施し、フィードバックする。 (PC利用: NotebookLM)	PDCAサイクルに基づく活動の手順について説明ができる。	(復習)地域の栄養課題とPDCAサイクルについてまとめておくこと。 (予習)地域公衆栄養計画の概要についてポイントを3つに整理しておくこと。	180	主体性 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
14	公衆栄養プログラムの計画、実施、評価 計画の立案や実施方法、評価方法について理解する。	講義(教科書・資料・パワーポイント) グループディスカッション まとめ発表 質疑応答、グループ討議 公衆栄養活動をグループ討議し、発表してフィードバック (PC利用: NotebookLM)	計画の期間、対象、関係者の役割、評価の仕方について説明ができる。	(復習)公衆栄養活動の実施におけるPDCAの手順をまとめること。 (予習)ライフステージごとに展開する地域栄養活動の概要についてポイントを3つにまとめておくこと。	180	主体性 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
15	公衆栄養プログラムの展開 ライフステージ別、生活習慣病ハイリスク集団別の展開について理解する。特に、高齢者の栄養摂取の課題と課題解決の技法を習得する。	講義(教科書・資料・パワーポイント) 小テスト 小テストを実施し、正答発表と解説を行い、フィードバックする。 (PC利用: NotebookLM)	栄養・運動・休養・たばこ・アルコール・歯の健康の対策と展開方法を理解できる。 小テストで評価する。	(復習)栄養・運動・休養・たばこ・アルコール・歯の健康の6項目の展開方法をまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力